

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 実施日 2022年5月2日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	備考
OL79 3	オンコマインDxTTマルチ 研究用(甲状腺癌) FFPE 8D002-9957-075-966-49	未染標本スライド 厚さ5 μ m 5~10枚	Z10 (t)	室温	6~11	5000点 ※2	次世代シーケ ンス(NGS)法	裏面参照
OL91 6	曜日指定 オンコマインDxTTマルチ 研究用(甲状腺癌) FF 8D002-9957-070-966-49	組織 100mg	ARR (r)	凍結				

※2：遺伝子関連・染色体検査判断料



● オンコマインDxTTマルチ研究用（甲状腺癌） FFPE

● オンコマインDxTTマルチ研究用（甲状腺癌） FF

本検査は次世代シーケンサーを用いてRET融合遺伝子およびRET遺伝子変異を検出し、甲状腺癌および甲状腺髄様癌に対して、薬剤適応判定の補助を目的とした検査です。

本検査は次世代シーケンシング技術を用いたコンパニオン診断システムとして、甲状腺癌のRET融合遺伝子と甲状腺髄様癌のRET遺伝子変異を検出し、RET遺伝子に対して選択的に結合するチロシンキナーゼ阻害剤である「セルペルカチニブ（商品名：レットヴィモ）」の治療適応の判定を補助することができます。

ただし、コンパニオン診断以外の対象遺伝子については、研究目的での使用に限ります。

遺伝子変異等	がん種	関連する医薬品
RET融合遺伝子	甲状腺癌	セルペルカチニブ
RET遺伝子変異	甲状腺髄様癌	

▼検査要項

検査項目名	オンコマインDxTTマルチCDx（甲状腺癌） FFPE	オンコマインDxTTマルチCDx（甲状腺癌） FF
項目コード	OL793	OL916
検体量	未染標本スライド 厚さ5μm 5~10枚	組織 100mg
容器	Z10 (t) オブジェクトケース	ARR (r) 滅菌ポリスピッツ
保存方法	室温保存してください	凍結保存してください
所要日数	6~11日	
検査方法	次世代シーケンス (NGS) 法	
検査実施料	5000点 （「D004-2」悪性腫瘍組織検査「1・ロ」）	
判断料	100点（遺伝子関連・染色体検査判断料）	
備考	<p>重</p> <p>がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、RET遺伝子変異、RET融合遺伝子を解析し、甲状腺癌および甲状腺髄様癌に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。</p> <p>検査に必要な腫瘍細胞の割合は30%以上です。未染標本スライドの提出に際しての留意事項は総合検査案内の「容器の取り扱い方法」56ページを参照ください。</p> <p>他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。</p> <p>本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目（項目コードNo：M9514）も併せてご依頼ください。</p> <p style="text-align: right;">&1</p>	<p>重</p> <p>がん組織から抽出したゲノムDNA・RNAにて、RET遺伝子変異、RET融合遺伝子を解析し、甲状腺癌および甲状腺髄様癌に対して別表の医薬品の適応を判断することを目的としております。</p> <p>受託可能日は月~金曜日です。</p> <p>材料は腫瘍部位が含有されていることを確認の上、ご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。</p> <p>本検査をご依頼の際には、必ず核酸抽出項目（項目コードNo：M9610）も併せてご依頼ください。</p> <p style="text-align: right;">&1</p>

●参考文献

Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017. (検査方法参考文献)